

あんぜんだより

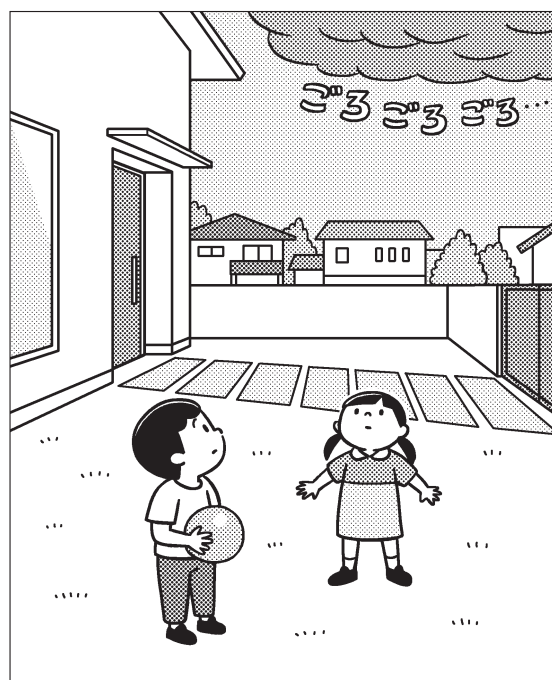
監修 全国学校安全教育研究会／東京都荒川区立南千住第二幼稚園 園長 立石晃子先生



雷の被害に遭わないために

6月になりました。「梅雨の雷・つゆのらい」という季語もありますが、これから夏の終わりにかけては、大気が不安定になり、雷の多い時期です。グラウンドや公園などでの落雷は、生命に関わる事故にもつながりますので、雷の時は屋内にいるようにしましょう。

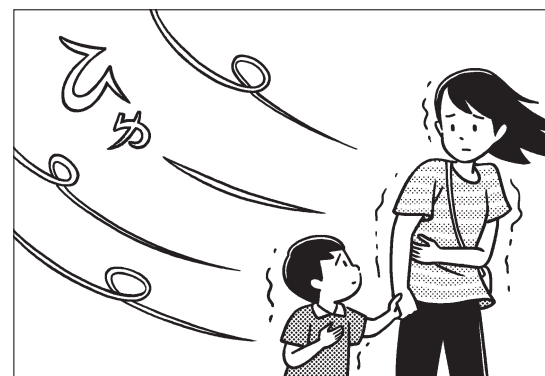
くもの なかで ごろごろ ぴかっ！ かみなりの ときは へやに はいろう



ごろごろと かみなりの おとが きこえて きたら あめが ふって いなくても へやの なかに はいろうね。

保護者の方へ 稲光から雷鳴までの時間を測って「近い、まだ遠い」と判断する人もいると思いますが、雷鳴が聞こえる範囲は10kmほどだそうです。そして、雷雲の大きさは10kmから数10kmにも達します。空でごろごろ音が聞こえた時は、すでに雷雲の下にいることになりますので、すぐに屋内へ入るようにしましょう。

かみなりが くる あいずを しろう



つめたい かぜが ふいて くる。まっくろい くもが ちかづく。

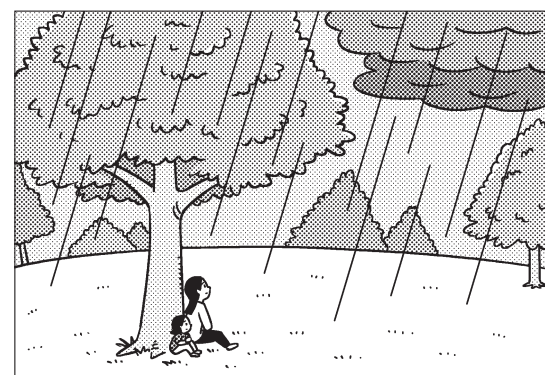
こんな ところは あぶないよ



ひろい ところ。



たかい ところ。



たかい きの した。



こうえんの あずまや。

保護者の方へ 雷はひらけた場所や高い場所に落ちやすく、公園の「あずまや」などの壁のない小屋での雨宿りは、「側撃雷」の危険があります。

7月号では「野外での注意」について取り上げます。